

FUKUUCHI

Public Relations

No.245
May

広報ふくち

新たな
空へ

福智町図書館・歴史資料館「ふくちのち」前のワイ・ワイ・ワ広場が、3月15日にリニューアルオープン。【詳細はP.16「フクトビ」でご紹介】同様の子育て支援施策をはじめとする「令和8年度施政方針」が、町議会3月定例会で示されました。町誕生から今年で20年を迎えた福智町。今月は、町の未来を形創る新年度・施政方針をご紹介します。

令和8年度
施政方針 Administrative Policy

2026
5



観 光施策によって福智山麓に酒蔵や飲食店がオープンしたり、町のメインイベント「福智スイーツ大茶会」が復活したりと、にぎわいの起点づくりが進む福智町。日本のインバウンド需要も多様化し、町の新たな観光の可能性に期待が寄せられる今、魅力ある店舗出店や宿泊施設誘致につながる観光誘客と人の流れを生むため、町行政にしかできない観光基盤の整備に集中し、確かなビジョンをもった観光振興に注力してまいります。



公 共施設の老朽化対策として統合・集約化を推進。公民館機能は「コスモコミュニティセンター」へ集約し周辺の公共施設を含めた一帯を「子育て環境推進エリア」に位置づけ、各機能の面的効果を生み出していきます。体育館は現在建設中の総合体育館に集約。防災と地域活性の拠点として整備を進めています。ライセンサーや消防団施設も統合。効率化と機能向上を図ります。財源は過疎債や交付金を積極的に活用。町負担の最小化に努めます。



少 子高齢化の影響で人口減少が続く一方、3年連続で転入超過となるなど、定住促進施策の効果が表れている福智町。大手企業の調査による「住み続けたい自治体ランキング」では、県内60以上の市区町村の中から15位に選ばれました。こうしたプラスの流れを加速させるため、今年度は「第3次総合計画」と「地方創生総合戦略」を一体化させた統合計画を策定し、定住促進施策を強化。「いつまでも住み続けたいまち」としての魅力を磨いてまいります。



町 の魅力発信をはじめ、特産品開発、企業連携、雇用創出を積み重ねてきたふるさと納税。本町の行財政と政策実現、持続的発展において不可欠かつ重要な取り組みであるため、今後もPRを強化し、財源確保に努めます。また、ふるさと納税寄附の堅調により最高額を更新している町の基金は、近い将来、国からの有利な財源が無くなることを見据え、適正範囲における収支バランスを取りながら、未来に向けて備えてまいります。



福 智の未来そのものである子どもたちが健やかに学び、夢を描けるよう、学びの環境の基盤整備に着手します。「高校生通学定期券助成」を継続し、町外通学を支援。日韓交流やハワイ交流などのグローバル教育を通じ、自ら行動できる力を育成します。さらには、猛暑対策として中学校体育館の空調整備に向けた設計に着手するとともに、老朽化した伊方小学校の改築に向けた取組にも着手し、教育環境の充実を図ってまいります。



昨 年度末には物価高騰が続く中、国の地方創生交付金に町の予算を上乗せし、町民一人あたり1万5千円分の「ふくふく商品券」を配布。生活支援にとどまらず、町内の消費喚起につなげました。今後も国の動きに連動し、町民の皆様の生活を支援する施策を展開してまいります。子育て分野では「保育料完全無償化」や「給食費無償化」を継続しつつ、今年度からは「高校生医療費無償化」で新たな子育て支援を実現してまいります。

令和8年度 政策の柱
Key Policy Measures

令和8年度

施政方針 Administrative Policy

旧赤池町・金田町・方城町が一つになって20年、歩みを重ねた「福智町」は今、次の一步をどう踏み出そうとしているのでしょうか。人であれば、人生の節目となる二十歳。町が描くこれからの姿とは――黒土孝司町長が福智町議会で示した「令和8年度施政方針」をご紹介します。



福 智町誕生20周年の節目に立つにあたり、私は町民の皆様の暮らしの今と未来に正面から向き合い、不断の努力と決断で、成すべき改革を一步一歩、着実に前へ進めていく決意を新たにしたいところであります。すべての町民の皆様が多様な幸せを実感することができ、この町で生き、暮らすことに誇りを持ち続けられるよう、時代の波に果敢に挑み、全力でまちづくりを進めてまいります。

令和8年度におきましては、私が一貫して掲げている「確かな未来を創る」をテーマに、「定住促進施策の強化」、「生活支援と子育て支援」、「公共施設と機能の集約化」、「学びの環境づくり」、「観光振興の基盤整備」、「ふるさと納税の強化」の6つの視点を柱に据え、強い志をもって、町政を力強く切り拓いていく所存です。

今月、国の指針に基づき「福智町人材育成基本方針」を取りまとめ、その中で、町行政が果たすべき使命や存在意義として、「今と未来の町民の幸せのため、時代の変化に挑み、持続的発展を追求し、愛される町を創造する」というミッションを掲げました。この幸福追求には、いま町で暮らす町民の皆様だけでなく、将来福智町に生まれる子どもたち、福智町を選んで定住される未来の町民、そして役場で働く職員の皆様も含まれています。

時代の変化とともに直面する様々な課題に対し、果敢に挑戦していく職員姿勢を大切にしながら、職員一人ひとりが主体的に成長し、広い視野をもって持続可能なまちづくりを進めることで、住み続けたいと思われ、愛され、選ばれる町へと発展することを信じています。

私たちは「町民の皆様との信頼を築けているか」、「職員力を最大限に引き出す組織となっているか」、「感謝と情熱を心に宿しているか」、「真に必要なサービスを選り抜ぎ提供できているか」を問いかけて、最小の経費で最大の効果を生む「行政のプロフェッショナル」として、今と未来に責任を持つ行政サービスに向け、職員一丸となって努めてまいります。

全力を傾注して町政を進めていくことをここに誓いし、令和8年度の施政方針ならびに、私の所信表明といたします。

防災・防犯

- 「令和7年度 地震に関する防災アクセスメント調査」の結果や「福智町地域防災計画」をもとにした大規模災害対策の強化
- 防災講演会やハザードマップ等による情報発信
- 自主防災組織の設立・育成の強化
- 町消防団の人材確保と処遇改善
- 消防団の適切な体制・環境の整備
- 交通事故防止に向けた啓発活動
- 自動車運転免許証の自主返納支援事業の実施
- 安全運転支援装置設置事業の実施
- 「防犯灯電気料助成事業」の創設

財産管理

- 本庁舎別館1階の改修と非常用自家発電を設置する工事の施行
- 経費削減及び定住人口増加に向けて遊休地の有効活用を推進

地域振興・地方創生

- 「日王の湯」の新たな運営者の公募と選定

- 「A-デマンドバス」ふくくるバス」等地域公共交通の検討・再構築
- 高校生の学びを支える「高校生通学定期券購入助成事業」の実施
- 国の基準を順守した創意工夫によるふるさと納税事業の実施
- 多角的な国際交流事業を実施してグローバルリーダーを育成
- SNSやデジタルプロモーションを戦略的に活用した魅力発信
- 「消費喚起型」の観光コンテンツの開発
- 町の説明責任を果たしつつ、活気ある住民活動を周知する広報紙の発行
- 公正な行政情報サービスの提供を目的とした広報紙・全戸配布の実施
- 各課と連携して施策や災害情報を福智町公式のホームページやSNSで発信

暮らし手続き

- 戸籍へ正しい振り仮名の記載完遂
- マイナンバーカードの円滑な更新と利用促進
- 民間委託を含めた「総合窓口」の本格稼働
- 正しいゴミの分別や出し方の周知

人権推進

- リサイクル意識を向上する啓発活動
- 下田川清掃施設組合の施設等の解体
- 老朽化した町汚水処理施設の整備計画を策定
- 「福智町部落差別の解消の推進に関する条例」に基づく取組の推進
- 人権・同和問題に関する職員意識調査を基にした職員研修の実施
- 新築住宅資金等の滞納金徴収を強化
- 隣保館事業の検討・深化
- 公民館・集会所を兼ねる地域隣保館の統廃合

子育て支援

- 「子ども家庭センター」を軸とした、妊娠前から寄り添った、切れ目のない子育て支援の強化
- 子育て支援施策の強化
- 関係機関と連携した要保護児童対策の強化
- 「子育て短期支援事業（シヨートステイ）」を新たに実施し児童虐待を予防
- ひとり親家庭等・重度障がい者医療費の高校生の一部負担を全額助成

Highlights of Our Key Initiatives 主要施策のご紹介

6つの政策の柱を軸に、各行政分野で展開する主要な施策をご紹介します。
 課題解決と持続可能なまちづくりにつながる取り組みをご確認ください。

医療・介護

- 子ども医療費の対象年齢を高校3年生（18歳到達年度末）まで拡大

- 公的医療保険の改定制度改正に伴う事務体制の整備・周知
- 特定健診・特定保健指導の推進
- 福岡県後期高齢者医療広域連合との連携で医療費適正化事業を推進
- 住民健診と継続的な保健指導等を実施
- 町独自特典を活用した「ふくおか健康ポイントアプリ」の推進
- 若年層の生活習慣病の予防啓発
- 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」によるフレイル予防の推進
- 「第2次健康増進計画」の策定や「第3期データヘルス計画」の見直しの実施
- 予防接種に対する助成事業の継続

福祉

- 地域の支えあい体制の構築・強化
- 障がいの有無にかかわらず共に助け合う共生社会の実現に向けた取組

農業振興

- 高齢者、障がい者、生活困窮者などの多様な地域生活課題の解決に向けた包括的な支援体制の強化
- 社会的な障壁を除去する取組

- 新ライスセンター建設工事に着手
- 米穀の需給と価格の安定に向けた取組
- 機械導入等補助事業の実施
- 研修費用を助成し農業の担い手を育成
- 農業法人化の調整・支援
- 新規就農相談・支援を重点に対策
- 農作業の効率化を図るは場整備
- 「土地盤整備事業」の実施
- 害獣の捕獲駆除並びに被害防止対策事業等への支援強化
- 農業委員対象の先進地視察研修の実施
- 赤池暁町・貴船地区周辺の調査に着手
- 事業完了に向けた国土調査事業を推進

建設事業

- 国や県からの交付金を有効活用した道路・橋梁等の点検・調査・修繕補修など適正な維持管理等

町営住宅

- 福智町営住宅長寿命化計画に沿う町営住宅の建て替え事業と維持補修の推進と管理戸数の削減を進め財政の健全化を図る
- 社会資本整備総合交付金事業による湧淵団地C棟解体工事、平原団地住戸改善工事及び天郷団地建替えに伴う実施設計を計画
- 高尾・荒迫団地の解体工事を計画
- 民間企業への管理業務委託を継続
- 住宅使用料滞納者への督促・催告・明け渡し訴訟等や未収金の回収強化
- 空き家情報の検索体制の構築
- 空き家解体への補助事業の実施
- 定住促進を図る民間住宅への助成を継続

町立病院

- 適切な感染症対策の実施
- 安心・安全な地域医療の提供と適正な医師確保
- 診療収入の確保や経費削減による経営改善





総務課情報政策係長 村上慶孝 (総務課DX推進係長)
防災管財課防災危機管理係長 原口一仁 (建設課維持係長)
防災管財課管財係長 中野勇 (生涯学習課社会体育係長)
企画振興課地域振興係長 立花正太郎 (中城村派遣)
住民課住民係長 山本太地 (住民課)
住民課窓口係長 稲垣陽太郎 (総務課窓口係長)
人権推進課人権推進係長 大西理理華 (こども課こども支援係長)
こども課こども支援係長 石川真由美 (企画振興課地域振興係長)
農政課農政係長(農業委員会) 奥一幸 (生涯学習課人権同和教育係長)
建設課維持係長 佐藤陽介 (住宅課公営住宅係長)
住宅課公営住宅係長 桑野清一 (防災管財課管財係長)
生涯学習課社会教育係長 坂田早苗 (生涯学習課公民館係長)
生涯学習課社会体育係長 末永康彦 (防災管財課防災危機管理係長)

係長

課長補佐
人権推進課課長補佐 竹宗慶 (農政課課長補佐)
保険健康課課長補佐 松村俊明 (企画振興課課長補佐)

課長

防災管財課長 若林友克 (住民課長)
住民課長 藤井浩二 (保険健康課課長補佐)

令和8年度
人事異動 Administrative Personnel Changes

辞令を受け、人事異動した教職員・町職員をご紹介します！

金田
義務教育
学校

児童生徒数：599人
 学校長：井上修一
 []内は前任地等

〔前期課程〕
持丸修一郎 副校長(赤小)
銅藤秀晃 主幹教諭(下野小)
三輪侑矢 教諭(新規採用)
小谷蓮華 教諭(新規採用)
原口隆平 教諭(香春思永館)
大里真理子 教諭(伊方小)
西村奏音 教諭(市場小)
〔後期課程〕
大鶴裕司 主幹教諭(金田義務)
高柳実和子 教諭(新規採用)
工藤志帆 教諭(赤池中)
中野享子 教諭(田川西中)



伊方
小学校

児童総数：281人
 学校長：山本公平
 []内は前任地等

弁城
小学校

児童総数：63人
 学校長：長尾公仁
 []内は前任地等

市場
小学校

児童総数：265人
 学校長：茅島陽子
 []内は前任地等

上野
小学校

児童総数：60人
 学校長：坂本紳二
 []内は前任地等

方城
中学校

生徒総数：182人
 学校長：久富靖剛
 []内は前任地等

赤池
中学校

児童生徒総数：201人
 学校長：田上修司
 []内は前任地等

係員

林修平 主幹教諭(伊方小)
富永萌恵 教諭(新規採用)
中野弦己 教諭(金田義務)
小松由美 教諭(伊方小)

田上修司 校長(金田義務)
大井喜幸 教頭(糸田中)
福田和憲 主幹教諭(方城中)
井上心華 教諭(新規採用)
平井悠河 教諭(新規採用)
山角華蓮 教諭(新規採用)
山本秀信 教諭(赤中)

出納室主査 原田篤志 (農政課)
企画振興課主査 原田広太 (防災管財課)
税務課主査 仲谷太一 (防災管財課)
税務課主査 永末沙都季 (総務課)
住民課主査 植田絵美 (総務課)
住民課主査 鎌田佳枝 (生涯学習課)
住民課主査 森由依 (税務課)
こども課主査 小松原満里奈 (総務課)
こども課主査 河口百合恵 (生涯学習課)
農政課主査 日永田憲章 (企画振興課)
住宅課主査 楠木広幸 (保険健康課)
学校教育課主査 白石美幸 (税務課)
生涯学習課看護師 原ちか子 (こども課)
生涯学習課主査 斉藤亮磨 (田川広域水道企業団派遣)
田川広域水道企業団派遣主査 永野昌勝 (建設課)
田川地区広域環境衛生組合派遣主査 山村智昭 (田川地区畜場組合派遣)
中城村派遣主任主事 三浦俊祐 (学校教育課)
総務課主任主事 飯屋祐希 (企画振興課)
住民課主任主事 江藤悠馬 (住宅課)
人権推進課主任主事 浦田知枝 (企画振興課)
農政課主任主事 高野真衣 (税務課)
建設課主任主事 松井健太 (議会議務局)
生涯学習課主任主事 田島一美 (出納室)
議会議務局主事 和佐翼 (企画振興課)
総務課主事 今村莉子 (新規採用職員)
防災管財課主事 田中克憲 (新規採用職員)
企画振興課主事 石山優香 (新規採用職員)
企画振興課主事 稲垣実生 (新規採用職員)
住民課主事 宮脇信哉 (総務課)
こども課主事 寺岡莉那 (住民課)

※()内は前課。

FUKUCHI TOWN OFFICE **新人職員紹介**



生まれ育った福智町で、様々な学びを得ながら、町民の皆さまに信頼してもらえるような職員になりたいです。

Name 田中 克憲さん

Group 防災管財課 防災危機管理係



Name 石山 優香さん

Group 企画振興課 地域振興係

町内外の方々が福智町の良さを再発見してもらえるようなイベントを増やし、活気ある町づくりをしたい！

町民との信頼関係を大切に、積極的な交流を通じて地域課題の解決に取り組む、魅力ある町づくりに貢献したい！

Name 稲垣 実生さん

Group 企画振興課 政策推進係



Name 今村 莉子さん

Group 総務課 情報政策係

誰も取り残されない支援を大切に、町民の皆さまに寄り添い安心して頼ってもらえる職員になりたいです。



令和8年度

予算

Budget for FY2026



貴重な財源をどう生かすか——
「当初予算」の概要をお知らせします。

寄付金収入も「減」依然厳しい財政

昨今の物価高騰や賃金上昇をはじめ、不透明な国際情勢の影響を受け、地域経済を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっています。町の本年度予算においても自主財源の根幹である町税収入では、昨年度から横ばいの16億4千万円程度を計上しました。これまで町税を上回る収入を得てきたふるさと納税は、昨年度、約33億5千万円の寄付実績で、一昨年度より約8億2千万円減収。自治体間競争の激化や国の規制強化による影響から減少傾向となっています。当初予算では国や県に依存した財源割合が、ふるさと納税を除くと約7割弱を占め、今後とも依然として収入の多くを依存財源に頼らざるを得ない状況が続くことが予想されます。

経費削減を強化し財政の安定を図る

平成29年度から取り組む財政健全化に向けた経費の見直しを行っているものの、物価高騰の影響を受け、町単独事業の経常経費は昨年度から増額となっています。公共施設等総合管理計画・公営住宅長寿命化計画等に基づくインフラ資産は物価高騰による事業費の増加が確実にあり、加えて、高齢障がい者福祉や子育て支援制度の給付費の拡充、頻発化・激甚化する災害の備えなど、新たな財政需要も生じている中、町税の増加は見込めない状況です。引き続き予算を許さない財政状況に対応すべく、実効性の高い事業への選択と集中を図り、限られた財源を真に必要な分野に重点的かつ効率的に配分する経費削減を強化していきます。

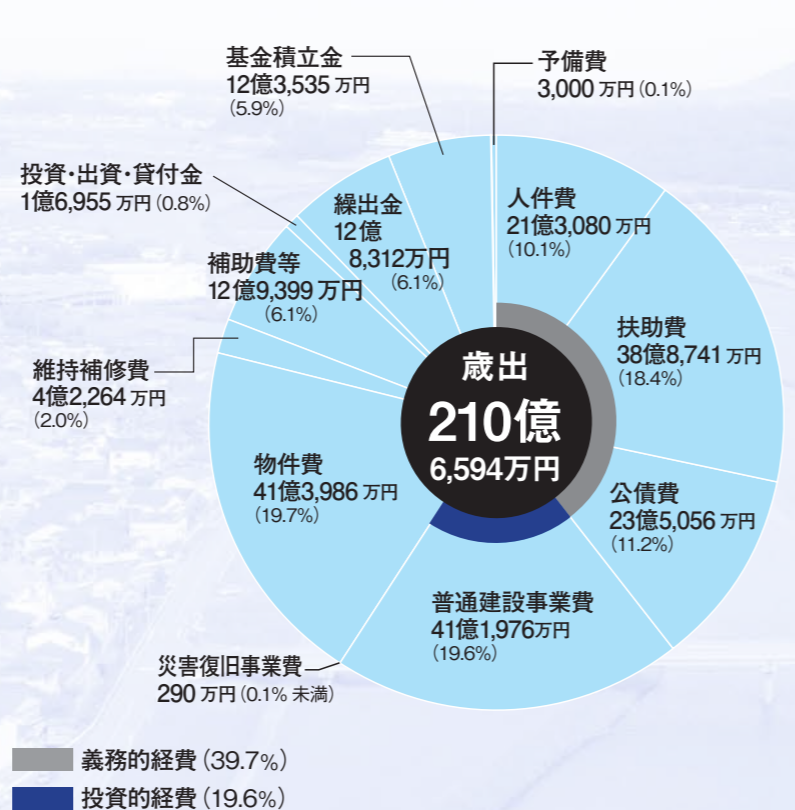
町の持続的発展に向け自律的改革へ

町の財政は、令和7年度決算(見込)で、家計でいえば貯金にあたる「基金」が過去最高額を更新します。一方、家計でいえば借金にあたる「起債残高」は昨年度より17億円増となりましたが、それと比較して基金残高が高い状況は変わりません。しかしながら、長期化する物価高や社会保障費の増加も見込まれており、さらなる財政確保が求められています。今後も過去の教訓を胸に、町の持続的発展に向けた歳入・歳入両面を踏まえた自律的な改革を進めていきます。

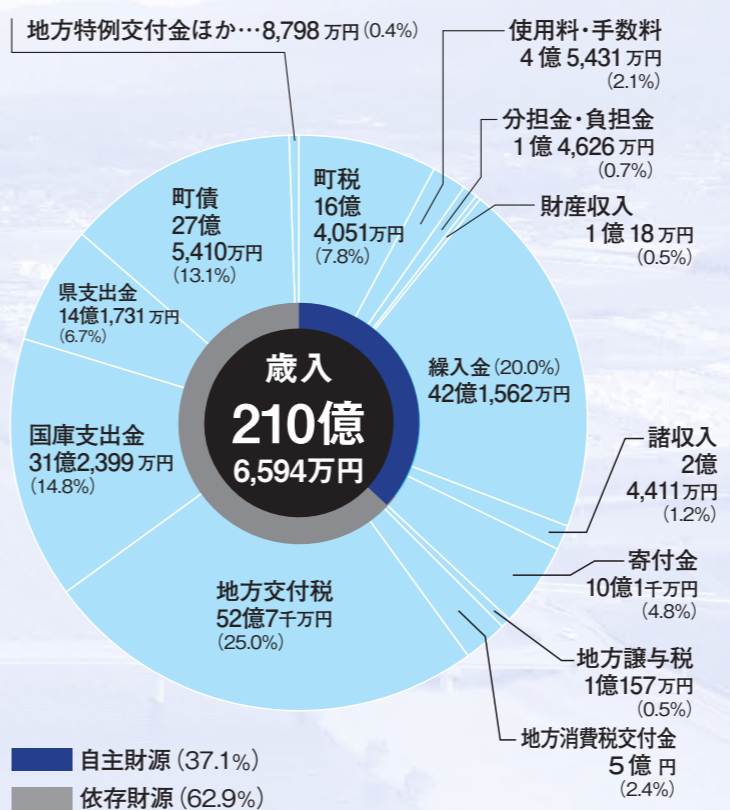
一般会計歳出【目的別グラフ】

議会費	1億2,497万円(0.6%)
総務費	23億1,643万円(11.0%)
民生費	59億4,762万円(28.3%)
衛生費	21億3,214万円(10.1%)
農林水産費	14億7,828万円(7.0%)
商工費	2億6,146万円(1.2%)
土木費	12億7,140万円(6.0%)
消防費	5億4,342万円(2.6%)
教育費	33億6,794万円(16.0%)
公債費	23億5,056万円(11.2%)
労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費	12億7,172万円(6.0%)

一般会計歳出【性質別グラフ】



一般会計歳入



特別会計予算

特別会計	予算等金額
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	260万円
国民健康保険事業特別会計	27億201万円
後期高齢者医療特別会計	4億4,183万円
国民健康保険福智町立診療所事業特別会計	4億9,686万円
田川郡町村公平委員会特別会計	359万円

用語説明

〔一般会計と特別会計〕
地方公共団体の会計のうち「一般会計」は基本的・全般的な経費を管理する会計で、「特別会計」は特定の事業を行うために、特定の歳入・歳出を一般会計と区分して管理するための会計です。

〔歳入〕

- ▼町税：みなさんに納めていただく「町民税」「固定資産税」「たばこ税」「軽自動車税」などの税金です。
- ▼地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で「普通交付税」と「特別交付税」があります。「地方交付税」は、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税)として集められた財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再配分するものです。
- ▼町債：町の借入金(借金)で償還が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるもの財源にあてられます。
- ▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。
- ▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。
- ▼繰入金：積立金(基金)の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

〔目的別歳出〕

- 地方公共団体の行う事業を目的別に分類するもので、行政サービスの水準や行政上の特色などを知らることができます。
- ▼議会費：議会運営のための経費です。
- ▼総務費：行政全般の事務などに関わる経費です。
- ▼民生費：障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費です。
- ▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。
- ▼農林水産費：農業振興のための支援や生産基盤整備などの経費です。
- ▼商工費：商工業や観光の振興などに関する経費です。
- ▼土木費：道路や河川、公園、施設建設など社会資本整備のための経費です。
- ▼教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費です。
- ▼公債費：事業を行うために借りたお金(町債)の元金・利子や一時借入金の利息を支払うための経費です。
- ▼諸支出金：他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。各種基金への積立金、土地取得費等があります。
- ▼予備費：予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための科目です。

〔性質別歳出〕

- 地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分できます。義務的経費は支出が義務づけられている経費で、投資的経費は行政水準の向上にかかる経費です。
- ▼人件費：議員報酬、職員給与などです。
- ▼物件費：旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費です。
- ▼維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費です。
- ▼扶助費：社会保障制度の環として、高齢者、児童、心身障がい者などに対して行う支援のための経費です。
- ▼補助費等：町から他の団体などに対して行政上の目的から支払う経費です。報償費(講師謝金等)、役務費(保険料等)、負担金・補助金及び交付金(助成金等)などが該当します。
- ▼普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要とされる経費です。
- ▼災害復旧事業費：災害で被災した施設などを復旧するための経費です。
- ▼公債費：町の借入金などを償還するための経費です。
- ▼積立金：財政運営を計画的に行うため財源変動に備えて積立てる経費です。
- ▼繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費です。